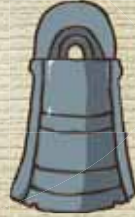


# 朝日遺跡ガイドブック

## 朝日遺跡へ ようこそ!



**アカ**  
まるまどつき  
円窓付土器  
はまってしまった弥生犬。  
ちょっと天然。

**弥生神**  
あさひいせき  
朝日遺跡のことは  
何でも知っている弥生の神様。

**クロ**  
まるまどつき  
アカと同じく円窓付土器に  
はまってしまった縄文犬。  
クールで静かな性格。



住所：〒452-0932 愛知県清須市朝日貝塚 1  
電話：052-409-1467  
開館時間：午前9時30分～午後4時  
休館日：月・火・水・祝日・年末年始

かがらやまかいづかしりょうかん  
**貝殻山貝塚資料館**  
あさひいせきけんきゅう  
**朝日遺跡研究の最前線**  
あさせひらせき  
朝日遺跡を見たい・知りたいのなら、  
まずはココから出発しましょう！  
少しレトロな館内は、朝日遺跡の「な  
ぜ?」「どうして?」を教えてください。  
解説や、貴重な出土品でいっぱいです。  
年に一回の企画展では、ふだん見るこ  
とができない、めずらしい品々が展示さ  
れることもありますよー!  
火おこし体験や、ミニチュア土器作り  
などの体験学習は、いつでも受付してい  
ます。  
聞きたいこと、わからないことがあつ  
たら、いつでも係のひとを呼んでくださ  
いね。やさしく、くわしく解説してくれ  
ます。



### 交通案内

(株)東海交通事業城北線尾張星の宮駅から 徒歩 10分  
名鉄名古屋本線新清洲駅から 徒歩 30分  
JR東海道本線清洲駅から 徒歩 35分  
名古屋第二環状自動車道清洲東ICから車で約5分  
朝日遺跡インターネット博物館

<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/>

<https://www.facebook.com/asahiiseki/>

facebook あいち朝日遺跡 検索

発行日 平成29年1月31日

編集・発行 愛知県教育委員会





# あさひいせき 朝日遺跡マップ

朝日遺跡では600年以上にわたって人々が生活していました。北の集落と南の集落、東と西の墓域など、集落は計画的につくられていました。

- 弥生時代前期
- 弥生時代中期
- 弥生時代中期後葉
- 弥生時代後期～



弥生時代って？  
 今から2,000年以上のむかしを、弥生時代とよびます。  
 そのころの人たちは、お米をそだてて暮らしていました。戦争があったともいわれているよ。



朝日遺跡は、東海地方でいちばん大きな、弥生時代の遺跡です。  
 遺跡には、このあたりでいちばんの王さまが住んでいて、たくさんのお宝が、発掘で見つかりました。



集落をかこむ溝(堀)を、環濠とよぶんだよ。



弥生時代中期の集落

# あさひいせき 朝日遺跡ってどんなところ？



ほくりく  
北陸

ヒスイ  
たまざいりょう  
(まが玉の材料)

あさひいせき  
朝日遺跡

ひがし  
東に  
つた  
伝わる

きんき  
近畿

どうたく  
銅鐸

きゅうしゅう  
九州

ともえがたどうき  
巴形銅器

どう  
銅・鉄

ちょうせんはんとう  
朝鮮半島

北陸からの宝石（ヒスイなど）や、  
近畿・九州からの金属器……  
朝日遺跡には、  
弥生時代のとても珍しい品々や  
それをつくるための高度な技術が  
集められました。

こうしたモノや技術は、  
朝日遺跡がとても大事な  
場所であったこと  
そして、  
たくさんの人たちが  
朝日遺跡におとずれたことを、  
今のわたしたちに  
教えてくれるのです。

高度な技術やモノを持っていて  
たくさんの方があつたのから  
朝日遺跡は大きくなったのかな



いろいろな文化が  
ぶんか  
であ  
うとこ  
ろ

でんとうぶんか じょうもんぶんか  
むかしからの伝統文化=縄文文化



流行の発信

ていねいにつくられた土器や石器。  
朝日遺跡で生まれ、つくられる、す  
ぐれた道具のデザインは、ほかの  
地域に伝わり、大きな影響をあたえ  
ました。



独自の文化

ここに穴が  
空いています

丸窓付土器は、朝日遺跡でつくら  
れたナズの土器。使いかたが、わか  
りません。



わたしたちにもわからない、  
朝日遺跡だけの文化や風習が生まれ  
ました。



# かいがらやまかいづか 貝殻山貝塚

あさひいせき  
朝日遺跡の始まりの地

紀元前6世紀頃、弥生人たちがこの場所に移り住んできたことが、朝日遺跡の始まりとなりました。貝塚から見つかるたくさん貝殻や土器の欠片は、弥生人たちの生活のようすを、わたしたちに教えてくれます。



緑豊かな公園内の、小高い丘が  
貝殻山貝塚



# かいづか 貝塚の断面と出土した貝殻



弥生時代の初期の貝塚



ハマグリ・カキ・シジミなどの  
貝が食べられていました。



# まるまどつきどき 円窓付土器

あさひいせきう  
朝日遺跡生まれの  
なぞの土器



丸窓付土器は、胴に大きな丸い穴が開けられた壺形の土器です。何に使われていたのか、くわしい使いかたは今もわかっていません。みなさんも、なぞの土器・丸窓付土器の使いかたを推理してみませんか？



丸窓付土器は、朝日遺跡の南端から、たくさん出土しています。集落の境界と、何かかわりがあるのかもかもしれません。



魔法のアクセサリー  
巴形銅器



\*現在、貝殻山貝塚資料館では展示していません。

ともえがたどうき  
巴形銅器

魔法のアクセサリー

巴形銅器はおもに九州地方で見つかる  
弥生時代の青銅器です。魔除けや敵の  
攻撃をふせぐ効果があるアクセサリーと  
して使われていたと考えられています。

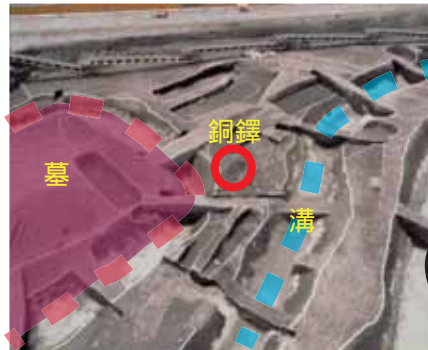


出土地点の現在の様子

あさひどうたくしゅつどちてん  
朝日銅鐸出土地点

朝日銅鐸は、集落のはずれに埋められてい  
ました。近くには、お墓や集落を囲む環濠が  
ありましたが、いずれも銅鐸の穴を避けてつ  
くられています。

銅鐸が埋められていた場所に、何か目印が  
あったのかもしれませんが。

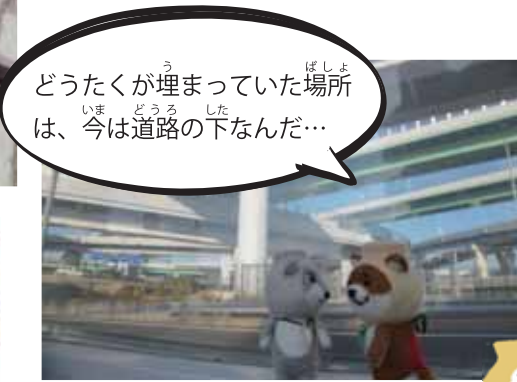


(上) 銅鐸は横に寝かせて埋められて  
いました。

(下) 溝や環濠は、銅鐸を避けてつ  
くられていました。(赤丸部分に  
銅鐸が埋められていました)



\*現在、貝殻山貝塚資料館では展示していません。







逆茂木・乱杭のあった場所。今は道路になっています。



朝日遺跡からは、地面に穴を掘り、その上に屋根をつけた竪穴住居が、たくさん見つかります。丸い家と、四角い家がつくられていました。



### しゅうらく なか 集落の中には



打ちこまれた乱杭



折り重なる逆茂木

逆茂木・乱杭の想像図（森沢康代画）



逆茂木や乱杭は、集落の外から敵が侵入するのをふせぐ障害物という説と、洪水から集落をまもる治水施設と考える説があります。

### さかもぎ 逆茂木や乱杭



### しゅうらく 集落のまもり

北側の集落の谷には、木の杭や枝を何重にもかさねて打ちこんだ逆茂木や乱杭がつくられていました。



環濠の発掘の様子

多重環濠  
たじゅうかんごう  
集落の防御線  
しゅうらく ぼうえいせん  
弥生時代の集落のまわりには環濠という溝が掘られていました。  
朝日遺跡集落にも環濠がありました。北の集落の東側は4本もの環濠が掘られていて、特にしっかりまもられた場所でした。



何かが邪魔してるから、まえに進めないよ!?



### かんごう なか 環濠の中から...

朝日遺跡の環濠からは、たくさんの土器が見つかります。下の宮廷式（パレススタイル）土器も、そのひとつ。胴の赤い波線は、龍（ドラゴン）を描いたものと考えられています。



北の集落があった場所には、今田んぼがひろがっているんだよ。





じゅうようぶんかざいあさひいせきしゅつどひん  
**重要文化財朝日遺跡出土品**



鳥形土器 (鳥の形をした土器)



赤彩土器



骨角製の装飾品 (アクセサリー)

あさひいせきからは、土器、  
 金属器など様々な種類  
 た。これらの出土品は、  
 技術を知るためにとても  
 平成24年に国の重要文化財  
 保管されています。

もつき、せつき、こつかくき、  
 木器、石器、骨角器、  
 の遺物が出土しまし  
 やまいじだい、せいかつぶんか  
 弥生時代の生活文化、  
 重要であることから、  
 に指定され、大切に



赤彩土器とガラス玉



勾玉・管玉 (首飾り)



木でつくられた農具